

季刊せいてん no.130

浄土真宗聖典の学習誌

特集

とにかくお念仏することだな

浄法雨

實圓



— 梯實圓和上をしのぶ

真宗〈悪人伝〉／善信房親鸞(四) 幸せてなんだろう／カレーから考える善悪
『唯信鈔文意』／めぐまれる信心 『蓮如上人御一代記聞書』／めずらしいことを聞かない、説かない

NO.130

季刊

せいてん

2020.3.1 (春の号)

特集

「とにかくお念仏することだな—梯實圓和上をしのぶ」

「七回忌にあたって」	梯 信暁	3
「梯和上のこと」	山本攝叡	4
「はあい、どおもどおも…」	星野親行	44
「『季刊せいてん』の梯和上」	大在 紀	52

はじめの一步Ⅰ

真宗〈悪人〉伝⑬

善信房親鸞(四)	井上見淳	9
----------	------	---

はじめの一步Ⅱ

幸せってなんだろう—悪人正機の倫理学⑬

カレーから考える善悪と救いの関係	藤丸智雄	16
------------------	------	----

聖典セミナー

『唯信鈔文意』⑨ めぐまれる信心

安藤光慈 22

せいてん誌上講演 **新連載**

『蓮如上人御一代記聞書』① めずらしいことを聞かない、説かない…

稲城選恵 30

ほとけのいる景色—アジャンター石窟寺院 ⑤

「日本人の見たアジャンター②」

打本和音 40

せいてん茶道教室 ②

「茶道の想像力」

清基秀紀 54

法語随想 ①

「煩惱障眼雖不見 大悲無倦常照我」

武田一真 56

読者のページ せいてん質問箱③

「『観経』はどこで成立したの？」

壬生泰紀 58

人ひとみな ニュートラルな考え① **新連載**

「〈変わっていくこと〉が変わらない」

朝倉行宣 63

念仏者はいま 青少年問題カウンセラー・外松太恵子さん

立ち位置はお念仏

64

西の空 心に響くことば

レンゲ草

榎本栄一 67

文中写真／編集室

お読みになる前に…文中に(〇〇頁)とあるのは『註釈版聖典(第二版)』、(七祖〇〇頁)とあるのは『註釈版聖典 七祖篇』のページ数を指しています。

幸せってなんだろう

—悪人正機の倫理学—

第13回「カレーから考える善悪と救いの関係」

総合研究所副所長 藤丸 智雄
ふじまる とも お



もはや国民食とも言えるカレー。実は、カレーと仏教は、ちよつと関係付けて考えることができるのです。

今回は、カレーと倫理、浄土真宗の救いについて考えてみたいと思います。

イラスト 瓜生智子



甥っ子とカレーライスを作る

甥^おっ子次男は小学校三年生になつて、料理を手伝えるようになりました。先日、「おじちゃん、一緒に料理を作ろう」というので、二人でカレーライスを作ることに。一緒にスーパ―へ出かけ、お肉と野菜を買い、寺でお料理スタート!

おじちゃん(私)は、まず玉ねぎを細かく刻み、油を敷いた鍋に入れて、金色に輝き始めるまで、じっくり炒めようとしています。すると、お腹を空かせた甥っ子から文句が出ました。

「おじちゃん、何やってんのよ」
「この下作業が大切なのよ。美しくなるぞ!」
「そんなこと、やらなくて良いから。野菜と肉を入れて、ルーを入

れたら美味しいのが出来るから。箱に玉ねぎを炒めるとか書いてらんから」

なるほど、確かに箱裏の説明書には書いてないのだ。

ということ、玉ねぎを最初に炒めるべきかどうか、倫理的に考えてみようと思います。

祭祀を批判した釈尊

釈^{しやく}尊^{そん}は、およそ二五〇〇年前に、インドで仏教を説かれました。なぜ釈尊は独自の法を説かれたかと言うと、当時のインドで勢力を誇りインドの宗教的な価値観を形成していた「バラモン教」の教えに満足できなかったからです。そのため、仏典には、数多くのバラモン教批判が出てきます。

バラモン教は祭祀^{さいし}を行うことによつて幸福を実現しようとしてきました。

つまり幸福とは神から与えられるものと考えたのです。たとえば初期仏教の典籍には「車兵^{しゃへい}の長たる王は、

バラモンの勧められたるままに、何十万頭もの牛を、祭祀の場で殺した」

(「スッタニパータ」第308偈)と祭祀で多くの命が犠牲にされていることを批判します。

これに対して仏教は、よい行いによつて幸福が生まれると考えます。初期仏教の典籍には、以下のような記述が、しばしば見られます。

ただ、バラモンの母胎から生まれただけであり、自分の所有物に執^{しゆう}着^{じやく}するようなものを、わたしは真のバラモンと呼ばない。

実践している行為によつてこ
(同第620偈)

そ、バラモン階層のひとつになる。

(同第136傷)

以前(本誌11号、21頁)にも書きましたが、このように祭祀ではなく行為を重視する点で、仏教は倫理的な性格を持っていると言えます(註)。

(註)祭祀によらない点に加えて、神が定める決まり(戒)が重要でなく、仏法に基づいて個々の具体的な善悪について考える点においても倫理的な性格を持っていると言えます。後にも述べるように、仏教の戒は、神(絶対者)が決めるものではないのです。

カレー店は誰が経営しているのか?

このバラモン教の考え方から、カースト制が生まれ、残念なことですが今もインド社会に深刻な影響を及

ぼしています。カースト制は、生まれながらに貴賤きせんがあるとし、上から

バラモン(司祭階級)、クシャトリヤ(貴族階級)、ヴァイシヤ(農耕等)、シュードラ(隸民)となります。また次第に、カーストにも含まれない不可触民ふかしょくみんも生じます。

さて、ここで質問です。

日本にもインドの人が経営しているカレー店がたくさんありますが、カーストの中では、どの階級の人がカレー店を営んでいるでしょうか?? どこかの会場でお話するときには、ここで挙手してもらいます。誌上では挙手いただけないのは残念ですが、だいたいヴァイシヤで手を上げる人が多く、逆にバラモンには、ほとんど手が上がりません。

しかし、正解はバラモンです。辛から島昇しまのぼる先生の本に、次のようにあり

ます。

そこでおもしろいのは、先に述べた「バラモン食堂」である。これは、バラモンのための食堂ではなく、バラモンが経営し、料理をしている食堂の意味なのだ、それが文字通り食堂の看板となっているのは、なぜだろうか。それは、穢れが人と人との接触によって伝わるだけでなく、食事、食物によっても伝わるものだからなのである。

(辛島昇「カラー版 インド・カレー紀行」岩波ジュニア新書)

このように、下のカーストの人が作った料理を食べたくないと考え、人がいるので「バラモン食堂」と掲げて、誰でもが食べられるお店であると示すわけです。おのずと外食産業はバラモンが主になり、日本でイ

季刊せいてん

バックナンバーのご案内 (在庫分)

100号を記念しての特別号



●表紙写真●燃灯仏授記図
(ベゼクリク千仏洞)

101号の主な内容

☆ビジュアル大乘佛教～北伝佛教の旅～
インド・西域・中国・朝鮮半島・日本編 丘山 新
これまで表紙解説のコーナーでたどった仏教伝来の道を、新たに美しい写真とともに旅しました。インドから日本に伝わった仏教の大きな流れを知ることができます。

☆「入門講座」・「聖典セミナー」プラス
観世音・大勢至一七高僧にちなんで 黒田 覚忍
「私にとっての仏教」その後 浅田 正博
親鸞聖人へのアプローチ 山田 雅教
その心すでにつねに浄土に居す 森田 眞円
『観無量寿経』のころ 徳永 一道
『尊号真像銘文』のころ 白川 晴顕
『一念多念文意』のころ 内藤 知康

今まで「入門講座」「聖典セミナー」をご担当いただいた先生方に、現在の味わいをご執筆いただきました。



表紙
●特集「しなやかにつなげる仏事」より

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝④(井上見淳)
「熊谷直実」
- はじめの一步II
「物語」で読み解く仏教⑩(野呂靖)
「植物と成仏 その二」
- 聖典セミナー
「歎異抄」⑥(矢田了章)
「第五条」
- せいてん誌上講演
「正信偈」⑭(梯實圓)
「曇鸞大師(1)大乘仏教の極致」
- 和讃で学ぶ浄土真宗⑥
「信心」(佐々木隆晃)

115号(夏の号) 2016年6月1日



表紙写真
●ポロブドゥール(18)(インドネシア)

- 入門講座
はじめて学ぶお釈迦さまのご生涯⑥
(内藤昭文)
お釈迦さまの晩年とその後
聖典セミナーI
一枚起請文③(高田文英)
浄土真宗の生命
●聖典セミナーII
御俗姓②(佐々木隆晃)
親鸞聖人の御遺訓
●聖典セミナーIII
仏説阿彌陀経⑤(満井秀城)
証誠・流通分

100号(秋の号) 2012年9月1日



表紙
●特集「自死と念仏者」より

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝⑩(井上見淳)
「願如と教如(中)」
- はじめの一步II
幸せってなんだろう④(藤丸智雄)
「嘘は悪なのか?」
- 聖典セミナー
「歎異抄」(終)(矢田了章)
「後序—たまはりたる信心」
- せいてん誌上講演
「正信偈」⑳(梯實圓)
「善導大師(3)仏様に認められて生きる」
- もう一人の親鸞④
「玉日姫と恵信尼さま」(黒田義道)

121号(春の号) 2017年12月1日



表紙写真
●チベット仏教(1)

- はじめの一步I
親鸞聖人の人間像①(山田雅教)
「妻がつづった親鸞聖人の素顔」
- はじめの一步II
現代人と宗教①(福永俊哉)
「宗教と学問」
- 聖典セミナー
「御文章」①(高田文英)
「聖人一文章」
- せいてん誌上講演
「正信偈」①(梯實圓)
「ご恩に報いるために」
- ザンカしよう
「讃仏偈」①(若林真人・山口篤子)

102号(春の号) 2013年3月1日

125号(冬の号) 2018年12月1日

- はじめの一步
真宗(悪人)伝⑩(井上見淳)
「金子大榮(中)」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう⑧(藤丸智雄)
「最大多数の最大幸福(1)」
- 聖典セミナー
「唯信鈔文意」④(安藤光慈)
「(今)の救い」
- せいてん誌上講演
「正信偈」②(梯實圓)
「法然聖人(1) 父の遺言を胸に」
- もう1人の親鸞(終)
「親鸞聖人と臨終の言葉」(黒田義道)



表紙 ●特集「(空)がわからない」より



表紙 ●特集「わが家で解決 セルフ質問箱のすすめ」より

- はじめの一步
真宗(悪人)伝⑩(井上見淳)「顕如と教如(下)」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう⑤(藤丸智雄)
「夜空ノムコウ」
- 聖典セミナー
「唯信鈔文意」①(安藤光慈)
「他力信心の法義」
- せいてん誌上講演
「正信偈」②(梯實圓)
「善導大師(4) 阿弥陀仏に会う」
- もう1人の親鸞⑤
「幽霊の救い」(黒田義道)

122号(春の号) 2018年3月1日

127号(夏の号) 2019年6月1日

- はじめの一步
真宗(悪人)伝⑩(井上見淳)
「善信房親鸞(一)」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう⑩(藤丸智雄)
「(いつの間にか)の倫理」
- 聖典セミナー
「唯信鈔文意」⑥(安藤光慈)
「誰もえらび捨てない救い」
- せいてん誌上講演
「正信偈」②(梯實圓)
「法然聖人(3) 回心の内景」
- ほとけのいる景色②
「千年の闇室」(打本和音)



表紙 ●特集「ふりかえる 平盛の遺説-新発見」より



表紙 ●特集「お盆、その前に」より

- はじめの一步
真宗(悪人)伝⑩(井上見淳)
「弁円」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう⑥(藤丸智雄)
「欲望は悪か」
- 聖典セミナー
「唯信鈔文意」②(安藤光慈)
「名号の摂化」
- せいてん誌上講演
「正信偈」②(梯實圓)
「源信和尚(1) 日本浄土教の黎明」
- もう1人の親鸞⑥
「枕石の物語」(黒田義道)

123号(夏の号) 2018年6月1日

128号(秋の号) 2019年9月1日

- はじめの一步
真宗(悪人)伝⑩(井上見淳)
「善信房親鸞聖人(二)」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう⑪(藤丸智雄)
「不安と倫理」
- 聖典セミナー
「唯信鈔文意」⑦(安藤光慈)
「救われるのは誰か」
- せいてん誌上講演
「正信偈」②(梯實圓)
「法然聖人(4) 善悪をこえた世界」
- ほとけのいる景色③
「石窟の条件」(打本和音)



表紙 ●特集「詳しく学ぶ 二河白道のたとえ」より



表紙 ●特集「(名人)たちの聖典」より

- はじめの一步
真宗(悪人)伝⑩(井上見淳)
「金子大榮(上)」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう⑦(藤丸智雄)
「信仰という幸福について」
- 聖典セミナー
「唯信鈔文意」③(安藤光慈)
「(白)であらわされる他力」
- せいてん誌上講演
「正信偈」③(梯實圓)
「源信和尚(2) 仏さまに背きながら」
- もう1人の親鸞⑦
「一切経校合」(黒田義道)

124号(秋の号) 2018年9月1日

●これまでの主な特集記事●

- No.100……100号記念 勸学和上に聞く
①聖教の真実性と布教伝道について 梯實圓
②聖典編集事業と『季刊せいてん』
徳永一道・内藤知康・佐々木恵精
- No.101……ヴィジュアル大乘仏教～北伝仏教の旅～
- No.102……飛雲閣と聚楽第一聚楽第の遺構か否か
- No.121……自死と念仏者
- No.122……わが家で解決 セルフ質問箱のすすめ
- No.123……お盆、その前に

*『季刊せいてん』誌のバックナンバーは部数に限りがございますので、品切れの場合はご容赦願います。

お申し込み・お問い合わせは
本願寺出版社

☎ 0120-464-583
FAX 075-341-7753

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル
1冊700円(税・送料込)

商品に払込取扱票を同梱しますので、郵便局もしくは
コンビニエンスストアで料金を払い込みください。

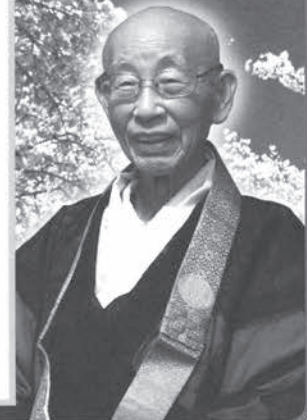
連載 クローズアップ

《せいてん誌上講演》「正信偈」

102号～129号

梯 實圓

本願寺の碩学、故・梯實圓和上による「正信偈」の講演録です。親鸞聖人のみ教えの結晶ともいえる「正信偈」をやさしくご講演いただいています。梯和上の聲に接しているような臨場感にぜひふれてください。



季刊せいてん 定期購読のご案内

*本誌を毎号入手していただくために定期購読をお勧めします。

●年間購読料 2,800円 (税・送料込み)

▲年4回 (3・6・9・12の各月) 発行

*1部からでもお求めになれます。

●1部 700円 (税・送料込み)

※同じ号を一括して多部数お申し込みいただいた場合には、
部数割引させていただきます。(10部以上10%・50部以上20%)

・お申し込みは↓・

本願寺出版社  0120-464-583 FAX 075-341-7753
よむよ ごわさん
〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル <http://hongwanji-shuppan.com/>

編集後記

◆「念仏者はいま」にご登場の外松太恵子さんは、「立派になれとか、こうあるべきと言わない、それが浄土真宗の魅力」と語っておられました。外松さんは「いつ会っても自然体ですね」とよく言われるそうです。そのお人柄は、み教えが醸し出しているものかもしれません。

◆「人ひとみな」で新連載の朝倉行宣住職は、お寺やイベント会場などで「テクノ法要」を行うことで、浄土真宗の魅力を多くの方に伝えながら、お寺を含めた地域の活性化を願って地道な活動をされておられます。次号もご期待ください。(S)

◆梯和上の七回忌と誌上講演「正信偈」の完結が重なり、よいタイミングで和上の特集を組ませていただくことができました。ご寄稿くださった先生方の文章はどれも胸に迫り、思いの

こもった文章の力を感じました。

◆そして、本号からスタートしたのが稲城和上の誌上講演です。真宗の要である「信心」を手を変え品を変えお伝えくださる和上のお言葉、じっくりと学ばせていただきます。(D)

◆私事ではありますが、今号をもって本誌を離れることとなりました。2015年夏の111号からちょうど5年分の編集に参加したことになります。最初の編集後記では「み教えについて確認したいことがある時にはまず開いてみる」雑誌にしたいと書いていました。理想が実現できたかはさておき、その方向性を動かすことなく編集を続けられたのは、読者の皆様をはじめ多くの方々のおかげです。今後はまたユーザーの立場に戻って、本誌を便利にフル活用していきたいと思えます。(N)

投稿募集

◆本誌に対するご感想やご意見、聖典講座についてのご質問など、ふるってご投稿ください。皆様からのお便りをお待ちしております。

◆あて先は、「〒600-8501 浄土真宗本願寺派総合研究所 季刊せいてん編集室」とご明記ください。

◆お送りいただきました原稿はお返しできません。◆掲載分には記念品をお送りいたします。

季刊せいてん

NO.130 令和2(2020)年3月1日発行

編集

浄土真宗本願寺派

総合研究所

〒600-8349

京都市下京区堺町92番地

発行

本願寺出版社

(浄土真宗本願寺派)

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル

本願寺門前町60番地

電話 075-371-4171